

新希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班 〒100-8051 (住所不要) 毎日新聞生活報道部

ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号(あればメールアドレスも)を明記してください。

東日本大震災

サポート情報

29日現在

(医療)

矯正歯科診療費を補助
矯正歯科専門開業医の全国組織である「日本臨床矯正歯科医会」は、治療中に被災者に対する治療の継続が困難になった患者を対象に、最大10万円を補助する。自宅が全壊されたら、主に生計を担う家族が死亡や行方不明になった人などで、同会委員の歯科にかかっている患者が対象。期間は今年末までの予定。問い合わせは、矯正歯科被災者支援フリーストライアル0120・4533・3444。

(イベント)

女将が東北をPR
JTBなどが進めている「まっすぐ東北」キャンペーンの一環として、青森県の旅館の女将を対象に、最大10万円を補助する。自宅が全壊されたら、主に生計を担う家族が死亡や行方不明になった人などで、同会委員の歯科にかかっている患者が対象。期間は今年末までの予定。問い合わせは、矯正歯科被災者支援フリーストライアル0120・4533・3444。

暑さ対策用品求む

被災者が求める物資や人的支援情報をお知らせします。必ず事前連絡をお願いします。

●遠野まごころネット
(岩手県遠野市) ☎0100・62・1001
tonomagokoro@gmail.com
http://tonomago.koro.net/

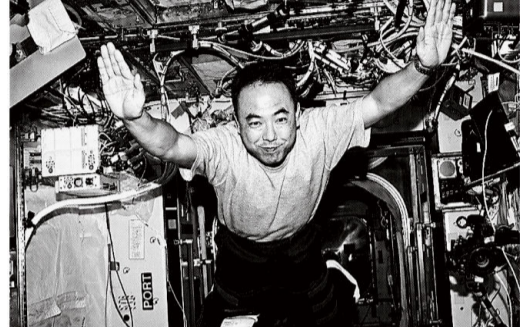
●共同支援ネットワーク
(仙台市)
koudounet@gmail.com
http://www.cic-japan.com/jishin_b.html

●ふくふくプロジェクト
(福島県) ☎024・4000・4000
f-sc@bz01.plala.or.jp
http://www.f-npo.jp/

ニーズ情報

制汗剤や汗ふきシート
岩手県大槌町の被災者が、暑さ対策として制汗剤や汗ふきシートを求めている。「なまめ最低限の生活はできるが、気温が上がり、避難所に滞在しなくては汗をかき始めた。まだシャワーを毎日浴びられない状況なので、ぜひお願いしたい」と話している。

夏用布団セットを希望
宮城県気仙沼市の仮設住宅の入居者が、夏用布団セットの提供を求めている。この仮設では1世帯あたり2組の布団が支給されたが、家族が多い世帯では布団が足りず、毛布などを敷いて寝ているという。「敷布団と夏用布団を1セットずつ提供してほしいです」と話している。問い合わせは、NPO「花見山を守る会」事務局の高橋さん ☎024・5339・8000。



国際宇宙ステーションに滞在する古川聡宇宙飛行士(47)と交信する「宇宙と話そう! 銀河教室」を8月1日、宮城県大和町の「東京エレクトロン宮城」本社で実施します。(参加無料)東北在住の小中学生(4~7年生)70人を募集します。

友達に会うと安心

友だちが被災地へ来てくれると、友達に会うと安心です。宮城県大和町の「東京エレクトロン宮城」本社で実施します。

宮城
下校する菅野西さん(中央)と友達の佐々木大河くん(左)、土屋光樹くん(右)

岩手
野田村の野田中学校にある仮設住宅で生活を送る深津タヨさん(右)。津波で家も、亡くなった夫の位牌も流されました。

三陸物語
視覚障害者の兄妹、中村亮さん(左)、三子三子さん(右)

被災者500人招待
フランス大使館(東京都港区)は、毎年7月14日に東京都内で開いている革命記念日のレセプションを、今年は福島県郡山市で開くことを発表した。避難所などで暮らす東日本大震災の被災者500人を招待する。

被災地向け家電を募集
被災者が求める物資を集めて提供する「ふくふくプロジェクト」(代表・西條健一)が、被災地に家電を送るプロジェクトを始めました。

フルート使ってください
馬場駒生市の権守ひさしさん(61)が、紺の日産ブルーバードシルビア(1800CC)を写真1台を被災した方に譲ります。

伝言板
被災地へボランティアに行くには
各地の災害ボランティアセンター(VC)が被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に居住地の社会福祉協議会がボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。

宮城
千葉被災地支援ボランティアバス「なほの花」(千葉県佐倉市)は、夜行バスで被災地へ行き、1日ボランティア活動をして当日の夜に千葉県へ帰る「災害復興支援ボランティアバス」を運行する。会社員も参加できる。金・土曜の夜に出発するプランとなっている。

岩手
野田村の野田中学校にある仮設住宅で生活を送る深津タヨさん(右)。津波で家も、亡くなった夫の位牌も流されました。

三子三子
視覚障害者の兄妹、中村亮さん(左)、三子三子さん(右)

フルート使ってください
馬場駒生市の権守ひさしさん(61)が、紺の日産ブルーバードシルビア(1800CC)を写真1台を被災した方に譲ります。

伝言板
被災地へボランティアに行くには
各地の災害ボランティアセンター(VC)が被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に居住地の社会福祉協議会がボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。

電話帳
●行方不明者・震災関連相談ダイヤル
岩手県警 0120-801-471
宮城県警 022-221-2000
福島県警 024-522-2151 (内線3024)

電話帳
●生活支援
日弁連電話相談0120-366-556(平日10~15時)
岩手弁護士会 0120-755-745(月~土曜13~16時)
仙台弁護士会0120-216-151(平日10~19時)
福島県弁護士会024-534-1211(平日14~16時)

電話帳
●省庁
公営住宅等情報センター 0120-297-722(9~18時。全国の公営住宅などを紹介)
住宅の補修・再建(国交省) 0120-330-712(月~土)
行政相談(東北管区行政評価局) 0120-511-556
金融相談(東北財務局) 022-721-7078
中小企業相談(経産省) 0570-064-350
農林水産業の被害相談(農水省) 0120-355-567
年金の相談(日本年金機構)0120-707-118※

電話帳
●金融・保険 ※平日のみ
預金口座照会センター(全国銀行協会) 0120-751-557※
災害地域生保契約照会センター(生保協会) 0120-001-731※
そんがいほけん相談室(日本損保協会) 0120-107-808※
携帯・PHSからは03-3255-1306※

電話帳
●福祉
三陸物語は、火くす曜日掲載します。